

愛犬と暮らすための心がまえ

犬を飼うということは、**犬の命を預かる**ことです。飼い主になったら、愛犬が**健康で安全**に暮らせるようにするとともに、社会や近隣に迷惑をかけないようにする**責任**があります。愛犬とともに楽しく暮らしていくためには、飼い主のモラルとマナーが求められます。

飼い主の方へ ～守ってほしい5か条～

環境省自然環境局総務課動物愛護管理室HPより引用、改変

- 1 犬の習性等を正しく理解し、最後まで責任をもって飼いましょう**
— 正しい知識を持ち、適切な飼い方をしましょう。
- 2 人に危害を加えたり、近隣に迷惑をかけることのないようにしましょう**
— おしっこやウンチ等で生活環境を悪化させないようにし、しつけや訓練をして、人に危害を加えたり、無駄吠えで迷惑をかけないように注意しましょう。
- 3 むやみに繁殖させないようにしましょう**
— きちんと管理できる数を超えないようにして、不妊・去勢手術などの措置を行いましょう。
- 4 犬から人へ伝染する感染症の知識を持ちましょう**
— 正しい知識を持ち、自分や他の人への感染を防ぎましょう。
- 5 盗難や迷子になることを防ぐため、所有者を明らかにしましょう**
— マイクロチップ、名札、脚環などの標識をつけましょう。

飼い主になるということは、全てに責任を持つことです。

命を預かる責任

- ・快適で安全な環境を提供する
- ・老いに向き合う(介護が必要な場合も…)
- ・命を終えるまで飼いつづける(人の都合で左右しないこと)

社会に対する責任

- ・ルールやマナーを守る
- ・人に不快感や危害を及ぼさない
- ・周辺地域を汚したり、迷惑をかけない
- ・自然環境に影響を及ぼさない

● 飼い主の責任を果たし、愛犬が健康で安全に暮らすために… 必要なコスト

飼育に必要な費用を予め計算しておきましょう。

例:食事代、健康管理、保険、不妊・去勢の手術代、その他(雑貨など)

住環境

愛犬に適した温度・湿度、必要なスペースや設備を整え、こまめに掃除を。また、清潔を保ち、危険な箇所がないか定期的に点検しましょう。

フード

愛犬の種類や年齢、健康状態に合った栄養バランスの良い食べ物を与え、常に新鮮な水を飲めるようにしましょう。

世話と観察

愛犬の体の状態や行動、フードの量、おしっこやウンチの状態を観察して、愛犬の異常をすぐに見つけられるようにしましょう。

健康管理

不妊・去勢手術、ワクチンの接種、寄生虫の駆除・予防、定期的に健康診断を受けることも必要です。

➔ かかりつけの動物病院を決めておきましょう。

信頼できる獣医師のいる動物病院を探しておき、入院、時間外の緊急対応の有無なども確認しておきましょう。

➔ 医療費を確認し、準備をしておきましょう。

動物病院によって多少異なりますが、医療費の負担はかなり大きいものです。ペット保険に加入するかどうかの検討も早めしておく必要があるでしょう。

身元を示すものを装着する

すぐに飼い主がわかるように、身元を示す迷子札や鑑札・狂犬病予防注射済票などを首輪につけるとともに、脱落の心配がないマイクロチップの埋め込みをしておくなど、二重三重の対策をとっておきましょう。

➔ 預けることをお願いできる人、場所を探しておく

急用等で愛犬の世話ができない場合に備え、友人・知人等、愛犬を預けられる人を探しておきましょう。動物病院で預かってくれる場合やペットホテル、自宅に来てくれるペットシッターなどの方法もあります。

➔ 災害時の避難方法を確認しておく

普段から愛犬用の避難用品や備蓄品を確保し、避難所の所在地や避難ルートを確認しておきましょう。